

公表日

2025年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 横浜吉野町教室

保護者等数(児童数) 24名

回収数 23件(割合95%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3			見学したことはないのですが、希望者がいるなら個別にでも見学の機会があっても良いかもしれません。	机を折り畳み式にして、活動スペースを広く使えるようにしています。見学に関しては、ご希望を伝えていただければ、対応させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2			普段見に行かないので不明です。見学したことははにので分かりませんが、希望者がいるなら個別にでも見学の機会があっても良いかもしれません。	職員紹介の紙はこまめに出させていただきます。見学希望の方は教室までお伝えください。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1			見学したことははにので分かりませんが、希望者がいるなら個別にでも見学の機会があっても良いかもしれません。	見学希望の方は教室までお伝えください。階段をなくすることは難しいですが、教室内はバリアフリー化しております。また、活動スペースをパーテーションで構造化したり、活動の流れを視覚的にわかるよう掲示しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1			見学したことははにので分かりませんが、希望者がいるなら個別にでも見学の機会があっても良いかもしれません。	こどもの活動に合わせて机を動かしたり空間を作っております。毎日の掃除等も行い、心地よく過ごせるようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2			不器用さがある子なのでOTの先生がいたり難しいです。	ご家族へのフィードバック時に詳しくお伝えできるよう職員に周知していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		2		お子様に合わせた支援プログラムが実施できるよう、引き続き工夫していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2		1	子どもの特性を理解し、よく支援していただいていると思います。	個別支援目標作成前の面談時に保護者様のニーズをよりくみ取れるよう、引き続き努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		1		適切な項目を入れ、個別支援計画を作成しています。サイン記入後コピーを返却していますので、ご確認ください。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1		支援目標にそった支援を実施しています。足りない部分などは教室までお伝えください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21		1		プログラムによる。本人はもっと長い時間過ごしたいと話しています。プログラムの多さに子ども喜んで通うことが出来ていると思う。土日などの長時間利用の時、公園など短時間でも良いので外に出る時間があるといいなと思います。活動内容がとても実用的な生活に繋がることが多いのがこばんの一番好きなおところ。	固定化しないよう、複数人数で活動案を作成しています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	9	6	いいえに付けたが、そこは求めていないので良いと思う。必要としていない。	少ないですが公園遊びなどの時間に地域の児童との交流の機会があります。	
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2		1		契約時に丁寧に説明をするように心がけております。ご不明点は都度伝えていただければご説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21		1	1		原案をお見せしながら、支援内容の説明をさせていただいております。本案へサインをいただく時にも再度説明をさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	9	5	知る限りはないと思う	現在は行っておりませんが、個別のご相談は受け付けております。今後、開催を検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	3			いつも丁寧に伝えてくださっています。	送迎時などにフィードバックを行うとともに、お子様の状態のお話しをさせていただいております。より共通理解ができるよう心掛けていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3			面談で共有していただけて助かっている。	半年に一回以上の面談の機会を作っております。心配事がある時にはそれ以外でも時間を作ることが可能です。いつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		1	人による	ご家族へのフィードバックの時間に、より保護者の助けとなるようなお話しをしていけるよう心掛けていきます。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	3	12	5	こちらの放デイでは他の良いと思うプログラムが多いので父母きょうだいの支援や活動は求めている。参加できていないので不明です。保護者会は他の場であったりするので、OKです。交流の機会があるのは良いかもしれませんが、開催されても実際には時間がとれるかは難しいかもしれません。	現在は行っておりません。今後、開催を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		2		契約時にもご説明させていただいています。相談や申し入れに対しては、ご希望がございましたらすぐに対応できるようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2		1		子どもの意思確認のツールだけでなく、ご希望の保護者へはプリントをひらがなで配布するなどの配慮も行ってあります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		1	SNS楽しみにしています。普段教室内は見学できないのもっと写真が多いと嬉しいです。ラインでのお知らせ助かっています。	新聞を月に1回配布。ブログやSNSは月に5回ほど配信を行っております。自己評価の結果はホームページにございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		4		個人情報に関しては十分に留意するとともに、保護者のご希望に応じた写真の使用なども気を付けて行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		2	周知はされていると思いますが、訓練までは分かりません。	それぞれマニュアルを用意し、定められた回数の訓練等を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22			1	プログラムの中に定期的に訓練などを取り入れていることは良いと思います。	避難訓練を月1回は実施し、職員・児童ともに避難できるような訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1		安全計画に基づいて、支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2		3		事故等が発生した場合には、マニュアルに基づき、迅速に対応してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			お友達や先生に会える場所があることが安心感を持っている。	引き続き、安心して通っていただけるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3			プログラムによる。本人はもっと長い時間過ごしたいと話しています。体調不良で休んでいる時も「行きたい」と活動を楽しみにしています。子どもにとってはおやつが嬉しいようです。毎回違うプログラムなので楽しみにしているし良いと思います。	楽しい場所であれるよう、引き続き努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22		1		土日のどちらかも通わせたいです。学校では足りない配慮や勉強を補足してくれてすごく助かっている。家族が教えるのとはまた違うので家よりしっかりやってくれることも多いと思う。いつも本当に感謝でいっぱいです。送迎や宿題の支援などは助かっています。	引き続き、満足していただけるよう努めてまいります。利用日数の調整については、教室までお問合せください。

公表日

2025年 1月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜吉野町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		整理整頓して児童のための広さを作っている。児童数と職員数でバランスよくシフトが組まれている。整理整頓を行い、スペースを有効活用すると同時に支援を行いやすい配置となっている。死角がないようにオープンスペースを心がけている。	大きな物や余計なものは置かないようにし、スペース作りを心掛けていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	支援の手がいる児童が利用している日はその分多く配属されている。必要に応じて配置基準よりも多い職員配置を行い、安全性と質の向上を図っています。	叱咤の対応などで手薄になることがあるが、支援の質の向上や職員間のコミュニケーションで改善していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	机の角などにはクッションカバーが付けてあり、扉にはチャイルドロックがされている。個々の児童にあった配慮を心がけています。刺激になってしまうものではなく、分かりやすい空間になっていると思う。1日のスケジュールを把握しやすくするために絵や文字など視覚的な指示を取り入れている	引き続き、環境作りに留意し、児童が安心して過ごせるように配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		清潔な環境を提供しています。日々清潔に保てていると思う。活動に合わせてパーティションを用いるなど空間を作れている。毎日感染対応や掃除を欠かさず出来ることが良いところだと思う。	引き続き、清潔な空間づくりを心がけます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	クールダウンに廊下に出ることがある。クールダウンの為に部屋を出るなどして変化できている。クールダウンで廊下を使用したりパーティションで区切るようにしている。不穏になった時に抜けて違う部屋に行ったりできるようにしている。	継続して個別の部屋や廊下、トイレなどの避難場所を確保していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		研修を行っており、振り返りの場も設けており、広く職員が参画できていると思います。月1のミーティングの他、朝礼、終礼などでも話し合いをしている。支援計画書を元に個別課題を立案し、気になることはミーティングで振り返っている。	職員間でのコミュニケーションを大切にしながら、続けていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	配布・回収・集計を着実にし、確かなデータをもとに改善に努めています。評価表を集計し、職員に結果を周知している。評価をまとめたらミーティングで話し合い改善策を出し合っており共有している。	毎年実施し、より良い支援に繋げていけるように努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		全体ミーティングを月二回開催。1日の振り返りも毎日実施し意見交換する場を設けている。管理者との面談や話す機会を設けたり、ミーティングで都度意見を出し共有している。職員同士の話し合いもよくできていて改善されていると感じます。	ミーティングや振り返りの時間等で意見を発信していけるよう引き続き行っていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	6	評価の尺度、信頼性や妥当性が保証されるとより良い教室になりやすいとは考えています。他教室にヘルプに行き来する中で良い点悪い点を持ち帰り参考にしている。社長など上司の方に合う機会はないが責任者から伝達があり、業務に反映されていると思う。こぼん本部の方に見てもらうことはあります。	会社とも相談しつつ、今後の検討をしていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		新人研修や専門的支援加算についての研修等定期的に開催されている。新人研修や業務中に関する研修などがある。定期的に研修を実施している。他研修案内をホワイトボードなどで掲示している。	引き続き、資質向上に努めていきます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		領域や対象児童を意識した支援プログラムになっており、複数の方法で内容の公開・発信もしています。毎月カレンダーを作成し保護者に配布している。ダブルチェックなどを行った上で公表されていると思う。	引き続き、支援プログラムを適切に作成・公表できるよう努めていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		個々の特性を理解し、必要なアプローチが明確に分かる内容になっており、ニーズにもこたえることが出来ています。偏った考えにならないように職員と一緒にカンファを行い考えています。	丁寧にアセスメントができるよう努めていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		支援計画時はもちろんのこと日々の業務で小まめに検討されており、作成時に反映されています。面談、計画書作成前にカンファレンスで情報共有する時間を設けている。	共通理解の元、支援計画書を作成していけるよう、引き続き行っていきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		個人情報であるため、一定のルール下で保管され、職員は各自内容を確認しやすくなっています。児発管の指示の元、行われている。計画書であげた課題点に合わせて個別・集団活動を立案している。	引き続き、職員間で共有しながら統一した支援が実施できるよう努めていきます

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	各児童の生活面で必要な内容が考えられている。アセスメントシートだけでなく、遊びや生活動作や言動など普段の子どもの様子を観察し記録に残している。日々療育中に観察し、情報を共有し確認を行っていると思う。こばんはうすのアセスメントシートを活用している。	こばんはうすのアセスメントを用い、また日々の行動観察なども使用しながらアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		ガイドラインを理解した上で設定を行っています。その内容も具体的であり、現実的に設定されています。ガイドラインの内容を踏まえたこどもの支援が適切に設定できていると思う。簡単な説明もしかりしてくれる。	引き続きガイドラインを踏まえながら、支援内容を作成していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		職員全員で立案しています。毎月職員同士で案を出し合って立案している。チームというよりも多くの意見が取り入れられるように全職員で行っています。	様々な職員のアイデアを活かしながら、今後もプログラムを作っていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		子どもが飽きないよう、同じようなプログラムでも出来るだけ変化を付けています。毎日違う内容で、週5日で通うお子様にもかぶらないよう組んでいる。季節や年中行事も取り入れながら考えている。プログラム内容はもちろんのこと、領域も固定化されないようにしています。	以前のプログラムを見て固定化されないように留意しながらプログラムを作成していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		個別の目的と集団の目的をしっかりと組み合わせ作成し、支援に活かしていると思う。同じプログラムでも対象の年齢に応じてアレンジしている。DTT、NET共に意識した計画及び支援となっています。NETの中でのDTTも評価し支援しています。	個別活動と集団活動を意識した支援計画になるよう今後も行っていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		毎朝ミーティングを実施し、役割を確認し合い連携できている。業務終わりに一日の振り返りを行い、子どもたち一人一人の様子を共有している。朝礼、昼礼で必要事項を確認している。	引き続き、チームで連携を図って支援に当たれるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		毎日振り返りを行い、様々な意見や気づいた点などを共有できている。個別活動をその日の朝に担当を振り分けて色々な職員が実施できるよう心掛けている。	支援終了後の振り返りを、継続していきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		個別学習の記録を必ず付けており、それ以外の内容も振り返りの際共有し日報に記している。日々の様子を記録に残し、職員間で振り返りアプローチ内容を検討している。振り返りの記録をとり、全員が見えるところに置いてある。	記録を残す習慣を継続し、支援の検証・改善に繋げます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		半年に一回以上のモニタリングを実施しています。実施している課題が達成できているのか確認しながら計画書の見直しをしている。定期的にモニタリングを行い、面談を経て親御さんのニーズも取り入れながら見直しを行っています。	引き続き、定期的なモニタリングを行い、個々のお子様の現状に合わせた支援計画が作成できるように努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	11		1	地域交流の機会は提供できていませんが、その他三つの基本活動を組み合わせた支援を行うことが出来ています。交流イベントも立案していきたいと思えます。	地域交流の活動を検討しつつ、4つの基本活動を組み合わせて行っていきます。
適切な支援の提供	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		選択肢を用意したりアンケートを取るなどの支援を行っています。友達との関わり方も自己決定を重んじ、強制していくことがないよう気を付けています。自己選択、自己決定できるように声掛け等、工夫して支援しています。自己の力を付けられるように支援を行えています。	こどもの年齢や発達段階を考慮しながら、自己選択の機会をたくさん作っていきます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		情報を集めた上で管理者が代表として参加している。日々職員間で子どもに関する情報共有を行っており、児発管を中心にみんなが深く理解できています。サービス担当者会議には児発管が参画しています。	サービス担当者会議や関係機関との会議には児発管がメインで参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		学校や保育所には送迎時に引継ぎを行っています。連携できている。担当者会議には連携をしっかりとって参加できている。契約時にしっかりと確認・記載を行っており、連携できるようなしています。	状況に応じて連携できる体制を作り続けていきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		主に親御さんとのやり取りで十分な情報共有が出来ています。学校とのやり取りが必要な場合はいつでも共有可能な体制が整っています。送迎時の情報共有を行っています。年間計画や下校時刻の確認は保護者からの共有で行っています。必要に応じて電話等で学校の先生と話し機会も作っております。	今後も保護者を通して、また適宜学校と直接のやり取りを行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		4	28同様で十分な情報共有ができています。放デイ新規契約でないお子様も多い為、児発の頃からの情報共有は行えています。	放デイから利用のお子様が入った場合には、そのように対応していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		8	そのようなケースがないため「いいえ」となりますが、そのような際にしっかりと連携できるように努めています。該当児童はいませんが、出てきたら行っていきます。	該当児童が出てきた場合には、情報を提供しながら行っていきます。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	8	発達支援センターのSVは機会がなく設けていません。センターでの様子や評価結果をコピーさせていただき、対応の仕方を参考にしている。必要があれば連絡を取っている。必要に応じて連携を図り、情報共有を行っていますが、助言等を受けることはありません。今後必要に応じて助言等も求めていきたいです。	機会があったらスーパーバイズや助言・研修を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	8	今はありませんが送迎時に交流の案内を行い、また交流イベントを立案していきたいです。公園や外出、遠足の際に地域と関わる機会を作っています。	交流イベント等、検討して参ります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	8	都合を合わせて参加するようにしています。	引き続き、都合を合わせて参加する機会を作っていきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時などフィードバックを行うと共に話しを伺う機会を作っています。引き渡しの際の様子を伝え、気になる点を共有するようにしている。送迎時に情報交換を行い状況や課題についてお伝えしたり教えていただいている。	より良い支援となるよう、保護者の方との情報共有を続けていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	8	ペアレントトレーニングを実施する機会は作れていませんが適宜助言等を行っています。情報提供などを行い講演などの場を提供出来ていると思う。	来年度以降、実施できるか検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	1	契約時に実施しています。利用する時に説明できており、問い合わせの時にも出来ている。書類に沿って説明し、確認のサインをいただくようにしている。	契約時にも説明させていただいていますが、ご不明点があればいつでもお伝えしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1	意向の確認を行い、支援計画に反映しています。困っていることを聞き出し、課題点を説明した上でプログラム内容を確認している。面談で保護者より、日々の過ごす時間で児童より、機会を作っている。課題に対してアプローチすると同時に親御さんのニーズや子どものことを考えた内容となっています。また、そのようなよう面談を欠かさず行っています。	ご満足いただけるような支援計画書尾作れるよう、意向を確認しながら保護者の方と協力して行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	1	原案を確認してもらい、同意をいただくようにしています。面談から説明出来ており、同意した上でできている。目標を説明し、立案したプログラムを伝えたくて同意をいただくようにしている。掲示しながら記載内容について説明を行い、ご納得いただいた上でご署名いただいています。	より丁寧な説明を心掛けながら、同意をいただくよう気を付けてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		半年に一回の面談を行っています。その他ご希望に応じて面談を行ったり電話での相談を受けるなどしています。定期的に面談などを設けている。その都度相談に応じたりしている。相談はいつでも受け付けており、フィードバック時に家庭での様子をうかがう機会を作るようにもしている。面談時だけでなく送迎時や連絡帳でその都度やり取りするようにしている。送迎時にたくさんお話しをしており、なるべく悩みになる前の助言や支援を行っています。	定期的な面談以外にも、ご不安なことなどあればいつでも受け付けております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	10	現在実施できていません。来年度以降検討していきたいです。7営業日の多機能であるため、支援中なことが多く中々難しいですが、その日の利用者の親御さんを中心に交流イベントを立案していきたいです。	来年度以降、実施できるか検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		相談等があった場合は都度返答や面談等しています。直接相談があった場合に職員同士・上司に報告し対応している。相談や問い合わせがあった時早急に管理者に報告対応している。職員同士での報連相を迅速に行い、最も相応しいものが対応に当たれるようにしています。	相談等があった場合には、できるだけ迅速に対応できるよう職員にも周知徹底していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		月一回の新聞発行やSNS等の発信をしています。ブログやインスタで活動の様子などを発信している。月初に手紙を送っている。連絡帳にも書いている。アナログとデジタルの2種でいくつかのサービスを用いて情報発信を行っています。	今後も活動の様子等を発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		時折、配布物のミス等がありますが、再発防止に努めています。個人情報が入った棚には鍵がかかっている。配布物等個人情報書かれているものはダブルチェックを行うなどして注意している。鍵付きの棚に個人情報が入っている書類を保管している。職場から書類等を持ち出さないようにしている。一定のルール下で安全に取り扱っています。	今後も個人情報の取り扱いに留意していきます。

	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		ご本人との意思疎通に努めています。また、保護者ともひらがなを使ったやりとりをしたりするなどの配慮を行っています。どのようにしたら伝わるかなど考えられている。漢字が読めない家庭にはひらがなのみで書くなど分かりやすいよう配慮している。個々の理解、表出レベルにあったやり取りをしており、ノンバーバルな視覚性情報にも気を付けています。	必要な配慮を行いながら、意思疎通や情報伝達を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	招待する機会は作れていませんが、近所の子が遊びに来ることはあります。夏祭りなど季節のイベントを子どもたちだけで行うことが多い為、親が着ても楽しめるイベントを考えたい。今は行えていませんが、交流イベントの立案もしていきたいです。	今後、検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		マニュアルに基づいて行っています。マニュアルを熟読確認する場面が作られており、訓練も行っている。委員会を設定し、定期的実施している。各種マニュアルは書庫に保管されており、いつでも閲覧でき、またその内容を周知する取り組みも行われています。訓練も行い、発生時に対応できるように努めています。	マニュアルのご説明とともに、周知や情報発信をしていければと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		マニュアルに基づいて行っています。避難訓練を定期的に行われている。委員会を設定し、定期的実施している。策定されており、研修も行われています。また、訓練も行い発生時に対応できるように努めています。	今後も非常災害に備え、訓練等を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		契約時に確認しております。事前に確認が出来ており、情報共有できている。利用前にアレルギーやてんかん発作などの確認をしてくれている。	契約時にしっかりと情報を確認し、子どもの状況の把握に努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	初回利用前の面談で聞き取りをして保護者からの意向を元に対応している。アレルギーについて常に職員が見えるところに掲示されている。接種可能な量に合わせたおやつの種類提供の有無を保護者と話して対応している。指示書はないが保護者より情報をもらっている。	契約時にしっかりと情報を確認し、子どもの状況の把握に努めます。また、年に一度は情報を更新し、対応に漏れがないよう努めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	マニュアルに基づいて実施している。安全管理について共有し、確認し支援が行っている。年間スケジュールを立て、それによって研修訓練を行うようにしている。研修や訓練等を行い、安全管理に努めています。また毎日確認を行っています。	安全計画に沿って、必要な訓練等を行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	4	マニュアルに基づいて実施している。どのように安全計画を行っているのか周知している。契約時に確認、周知を行っており、その他変更・追加がある際には都度周知に取り組んでいます。	安全計画に基づく取り組み内容を、ご家族に伝えることができますよう、発信方法等検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		毎日ヒヤリハットの確認を行い、再発防止に努めています。ヒヤリハットがあった時には対策を話し合っている。定期的にとまとめたものを用いてミーティングで共有対策を話し合っている。毎日ヒヤリハットがないか確認を行い、アクシデントはもちろんのごとインシデントも起こらないように検討しています。	継続してヒヤリハットを共有し、大きな事故等がないように努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		年1回と入職時に虐待防止研修を行っています。定期的に研修を行い、防止対策など行っている。定期的な研修があり、その都度子どもへの対応を改めるきっかけができています。研修を行い、その中で日々の支援を振り返りながら適切な対応を考え虐待が起こらないよう努めています。児童が来た時にも変化がないか観察している。	虐待防止の研修を引き続き行い、適切な対応をその都度とることができるよう努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	3	今のところ該当児童はいませんが、そのようなルールになっています。研修でも確認しています。説明を行い、計画書にも記載するようになっています。拘束対象の子どもがまだいないため、今後必要になってくる項目として計画書に反映していく。組織で基準を設け、親御さんに十分な説明を行った上で3原則以外で身体拘束を行わないようにするための支援について考えています。	身体拘束についての研修を定期的に行い、職員・保護者への周知も行っていきます。	